

6月定例会議会 のぐち光男一般質問（2016年6月20日）

○のぐち質問1回目

6月から説明会は統合対象となっているすべての学校で実施されるのか、伺います。

また、学校が統合された際の校区コミュニティのあり方についてですが、ある自治会関係者の方から実際に出ている意見ですが、学校統合に伴い仮に校区コミュニティもあわせて統合されることになると、これまで各自治会で行っていた学校行事などに対する連携・協力や地域活動などが統合先の校区コミュニティや自治会が中心に行うことになり、当該自治会としては、学校との接続関係や地域としてのさまざまな活動内容が薄れていくのではないかと危惧しておられます。これらの問題や過去の北牧野小学校や村野小学校の統廃合時における地域に対して与えた影響なども含めて、今後、自治会が活動できる条件整備を市としてどのように考えているのかお伺いします。

●答弁（1回目）管理部長

説明会の開催につきましては、学校統合の検討対象校すべてにおいて実施していく予定でございます。次に、校区コミュニティ協議会は、小学校区を基本とされておりますので、小学校の統合が行われた場合には、校区コミュニティ協議会につきましては、校区コミュニティ協議会につきましても新たな小学校区に基づくものになると考えております。しかしながら、実施時期等につきましては、それぞれの校区コミュニティ協議会において検討されるものと考えております。

○のぐち（2回目質問）

説明会については、検討対象校すべてにおいて実施するということが、統合先の学校から説明会開催の要望があった場合には実施するのでしょうか。また、今後、統合された学校については、避難所としての位置づけをどのように取り扱っていくのかお伺いします。

●答弁（2回目）管理部長

統合先の学校につきましても説明会開催の要望がありましたら、適宜対応をしていきたいと考えております。次に、学校の避難所の取扱いにつきましては、当該地域の状況を把握するとともに、地域の方々のご意見をお聴きしながら、関係部署と協議・調整を行っていきたいと考えております。

○のぐち質問（3回目）

学校規模等適正化に関する今後の取り組み予定についてお伺いします。

●答弁（3回目）管理部長

学校規模適正化に関する今後の取り組み予定につきましては、6月下旬より、答申に示された検討対象校等に対しまして、学校の保護者や地域の方々への説明会を実施していく予定としております。また、その後は説明会においていただきましたご意見等を踏まえた上で、学校規模等適正化に関する基本的な方針をとりまとめていきたいと考えております。

○のぐち質問（4回目）

全体的な流れを教えてくださいたいと思います。基本的な方針について見切り発車することなく、当該保護者や地域の皆さんが十分理解・納得したうえで決定する、ということよろしいのでしょうか。方針が決まった後、どのように統合まで進むのか、伺います。

●答弁（4回目）管理部長

学校規模等適正化に関する基本的な方針につきましては、今後、開催予定の説明会におきまして、当該保護者の方々や地域の方々などのご意見等をお聴きしながらとりまとめていきたいと考えております。学校統合にあたりましては、保護者及び地域コミュニティ、学校、教育委員会等の代表者からなる（仮称）統合協議会を設置しまして、新しい学校を築く観点で学校統合に関する諸課題や方策等について協議・検討を行っていきたいと考えております。

●のぐち意見

学校の統廃合は子どもたちにとっても、地域にとってもたいへん重要なことです。くれぐれも拙速なことはしないように要望しておきます。

これまでの議会での質問

のぐち光男一般質問（12月16日）

質問内容	答弁
<p>審議会の運営について伺います。何故第6回から公開されない秘密会になったのか、伺います。あわせて、これまでのこの審議会はどうだったのか、伺います。</p> <p>現在、市民の意見募集をされていますが、審議会の議事録が公開されていないのはおかしいのではないのでしょうか、審議経過が全くわかりません。なぜ議事録を公開しないのか、伺います。</p>	<p>7月に開催された第1回審議会から会議を公開して行ってまいりましたが、平成27年4月に開催された第6回審議会において、具体的な学校統合の方策を審議するにあたり、自由かつ活発な議論を確保する観点から、枚方市附属機関条例第6条第2項の規定に基づき非公開とすることを委員の総意により決定されたもので、会議録についても同様に非公開としております</p> <p>会議録については、適切な時期に公開します</p>
<p>説明会を学校や地域でなぜ開催しなかったのか</p>	<p>個別の説明会の開催については、統合に向けた取り組みを進める際に実施する</p>
<p>当該小学校のPTAが説明会を開いて欲しいと市教委に依頼したのに断ったのは何故なのか</p>	<p>統合の相手校となる小学校1校から依頼を受けたが、このことを丁寧にご説明した。当該学校に答申案等の資料を備え付けることを、別途提案させていただきました</p>
<p>地域自治会などのコミュニティー関係者、当該学校の保護者、PTAに説明をしてから答申案をつくるべきではなかったのか、なぜ審議会に地域の皆さんの声を反映させようとしなかったのか</p>	<p>審議会には地域の代表者の方々にも、委員として参画してもらい、多角的・多面的な視点からの審議をいただいている</p>
<p>議事録については、適切な時期に公開を予定しているということだが、前回の統廃合でも非公開としたことに、枚方市情報公開・個人情報保護審査会は平成13年2月9日に議事録は、会議の公開又は非公開にかかわらず議事内容を記録するものであって、会議の非公開と議事録を作成しないこととは、必ずしも連関するものではない。当該文書を請求の対象たる公文書とした上で、原則として、これを公開すべきと考えたと答申しました。本来公開されるべき文書だ。</p> <p>1月の審議会では答申案が取れた時点で公開されるものと理解しておきます。</p>	
<p>統合の実施時期について「できる限り早期とすること」とか、「早期とすること」とあるが、どちらを最初に取り組むのか。具体的な手順について、今後どのように進めていくのか</p>	<p><u>「できる限り早期」とされた方策を優先して取り組むこととなります。</u></p> <p>審議会では市民から募集した意見を踏まえ、来年1月には答申を取りまとめる予定。</p> <p>教育委員会では、この答申を踏まえ、「学校規模等適正化基本方針」を改定。</p> <p>その後、新年度には実施プランの策定に向けて、保護者や地域等へ説明を行い、ご意見をお聴きする予定でございます。</p>

<p>施設一体型の小中一貫校について、メリット・デメリットについて記載されていない。どのように審議されたのか</p>	<p>国の学校教育法等の一部を改正する法律案の概要等をもとに、小中一貫教育の推進方策や意義、基本的方向性について、本年4月15日開催の第6回審議会において説明し、審議会において共有化を図った。</p>
<p>交北小学校に山田・山田東小学校を統合し、山田中学校と一貫校にするとしていますが、たまたま小学校と中学校が隣接していることが最大の理由にしたと読み取れますが、ある中学校では、大変荒れた時に小学校との間を通る道路が小学生を守ったともいわれています。このような隣接する小学校と中学校の関係については審議会で報告されたのでしょうか</p>	<p>問題行動等が発生していた時期はありましたが、その中で小中が連携して、授業規律の確立に努めることで、落ち着いた学校となっている。立地条件とは相関関係はなく、また、小・中学校が近くにあったことにより、その後も人権教育をはじめ多くの取り組みが実現できている。 そのため、審議会へは特に報告をしていないが、その状況を審議会委員はよく把握されており、それを踏まえた審議がなされていると考えている</p>
<p>【のぐち意見】施設一体型の小中一貫校について、審議会では共有化が図られたということだが、なぜ市民と共有化するために答申案で記載しなかったのは問題だ。</p>	
<p>2000年、平成12年度に北牧野小学校、村野小学校、2001年、平成13年度に村野中学校が統合されましたが、この時の統廃合問題について、市はどのように総括をしたのか、審議会に報告し、議論されたのか</p>	<p>教育委員会では、学校統合後の保護者に対する教育アンケートや、校長へのヒアリング等を実施したところ、いずれの学校も活気があり、子どもたちも元気に学校生活を送るなど、一部校区コミュニティについて融和が難しい地域もありましたが、学校の学習環境を維持していく上で、学校統合は適切であったと評価しております。 第2次学校規模等適正化審議会において村野小学校等の学校統合方策を含む、第1次審議会の答申について検証が行なわれ、概ね適切であったとの評価がなされている</p>
<p>桜丘中学校で 当時3年生だった若者に当時のことを振り返ってもらいました。村野中学校との統合で中学3年になって突然クラスが40人以上になって、先生も生徒を管理仕切れなくなり、村野中学校から来た一部の荒れている子と元々荒れていた子が一緒になって、学年がより荒れまくって手がつけられなくなった。村野中学校が三校に分かれたので今まで一緒だった友達と一緒に修学旅行や卒業式に出られないのを残念がって居たので気の毒に思った。 彼女が知る限り村野中学校の子達で桜丘の部活に入った子は少ない。今さら入りづらいし、夏で終わるからだと思うが二年間やってきたのに、やりきれないのはかわいそう。3年生夏の大会で終わりになる体育会系の部活ならなおさら。 結論は、大人の事情で振り回され、それを変えることができないわだかまりがあるようにみえた。</p>	<p>先ほど申し上げましたとおり、平成12年度・13年度の学校統合につきましては、学校の学習環境を維持していく上で、適切であったと評価しております。 なお、今回の審議会においては、児童生徒数の減少に伴い小規模校の増加が見込まれる状況を踏まえ、子ども達の良好な学習環境を確保する観点から審議が行われたところ です。 また、答申(案)におきましては、留意事項の一つに、「学校統合にあたっては、環境の変化による児童生徒の心のケアに配慮するとともに、教職員の人事配置など統合後の学校運営や学習環境の充実等について支援</p>

<p>中学2年までの楽しかった思い出が最後に廃校になってみんなバラバラになってしまった、という結末で終わってしまうのは多感な年頃でもあるので、考慮してあげるべきでは。ということでした。教育委員会として総括していないのは問題です。きちんと教育的効果はどうだったのか、子どもたちの成長にどのような影響を与えたのか、きちんとまとめて審議会に報告すべきではないでしょうか</p>	<p>を行うこと。」とされております</p>
<p>【意見】 村野中学校の統合では多くの子どもが辛い思いをして、学校教職員の皆さんも大変苦勞をしたのを私も当時桜丘中学校のPTA役員をしていたのでよく見ていましたし、本当に大変でした。このことをぜひ教訓にして子ども達のことを最優先に進めていただくことを強く要望しておきます</p>	
<p>【意見】 公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引（平成27年1月27日 文部科学省）では「学校規模の適正化や適正配置の具体的な検討については、行政が一方的に進める性格のものでないことは言うまでもありません」とか、地域住民の十分な理解と協力を得るなど「地域とともにある学校づくり」の視点を踏まえた丁寧な議論を行うことが望まれます」と書いています。</p> <p>計画段階でなく、検討段階で保護者の意見や地域の声を聞くべきと文科省が指導しています。今後、PTAや地域で説明会を開催して十分、意見を聞いて進めていただきますよう、強く要望しておきます</p>	
<p>小規模校でもすばらしい実践をしている学校、地域ぐるみで教育に取り組んでいる学校など様々です。市長は地域のコミュニティの中心に学校を位置づけるといわれています。コミュニティの核をなくすようなことを進めていいのでしょうか</p>	<p>伏見市長答弁 今後、本市の人口が増加するような施策を構築・展開していく考えですが、現在の状況では、小規模校が増加していくと予測されていることから、良好な学習環境を確保し、充実させる観点から適正な学校配置の見直しは必要であると考えます。学校が地域のコミュニティ活動の中心であることは何ら変わるものではなく、今後もさらに学校と地域の連携を進めていくことが大切であると考えています。</p>
<p>日本共産党代表質問 広瀬議員 2016年3月3日</p>	
<p>広瀬議員質問</p>	<p>伏見市長答弁</p>
<p>学校統廃合についてです。 学校をなくすことは重大問題で保護者や地域の意見を聞かずに方針作成すべきではありません。審議会においても十分に意見を聞き答申を作成すべきです。 この間、実施をされたパブリックコメントには、どのような意見が出されているのか、市長、教育長はそうした声をどう受けとめておられるのかお聞きをいたします。 また、地域の面から見ると、学校がなくなるというのは地域のコミュニティーが壊れるということであり、市長は、コミュニティーの核となっている学校をなくすことをどのように考えているのか。 一方、市政運営方針では、コミュニティー・スクールとして開かれた学校運営を目指すとも述べられまし</p>	<p>続いて、学校統廃合について、お答えいたします。 学校規模等適正化審議会では、小規模校の課題を踏まえ、子どもたちの良好な教育環境を確保する観点で審議されていますが、答申案について、市民からは、小規模校のメリットを生かし存続してほしい、時間をかけて市民の意見を聞いて検討すべきなどのほか、小規模校の統合はやむを得ないなど、約180人の方々から900件を超える御意見をいただき、教育委員会としても重く受けとめて</p>

<p>た。学校評議員制度との関係どうなるのか。 学校現場で十分な議論がされた上での方針なのか、 教育委員会としてどう具体化しようとしているのか お聞きをいたします。</p>	<p>いるとでございます。</p>
<p>180人から900件もの意見が届いているとのことで、大変関心が高く、 また御心配をされているはずです。 ところが保護者からの説明会の開催要請に対して、 答申を受けた後でしかできないと説明をされてきました。 しかし、答申後であれば答申を尊重し 統合ありきで進められて、地域や保護者の 意見を聞くということは形ばかりになるの ではないのでしょうか。教育長はどのよう にお考えなのか見解をお聞きいたします。</p>	<p>○村橋 彰教育長 学校統廃合について、お答え いたします。 小・中学校は単に知識等を習得するだけではなく、 集団の中で多様な考えに触れ、認め合い、協 力し合い、切磋琢磨することを通じて、思考力や 表現力、判断力、そして問題解決能力等を育み、 社会性や規範意識を身につけることが重要であり、 一定の学校規模を確保することが重要となります。 小規模校は、これらの点において課題があること から、審議会からの答申を踏まえながら、その 解消を図る取り組みについて、保護者や地域コ ミュニティー等へ丁寧かつ十分な説明を行い、御理 解と御協力をいただきながら進めてまいります。</p>
<p>【広瀬議員 3 回目意見】小中一貫教育とあわせて学校規模適正化の問題がこの間、議論を されてきました。先ほどから教育長は、重く受けとめと、そういうふうに述べていただい ておりますが、しかし、答申が出れば答申を尊重する、こういう立場に立たざるを得ませ ん。だからこそ、まだ審議会が開いている今だからこそ保護者の皆さんの声を、また地域 の皆さんの声を審議会が聞く場を設けていく、そのことが必要なんではないでしょうか。 御理解を得て進めていくんだというふうにおっしゃるのであれば、この間、枚方市の行政 ではさまざまボタンのかけ違い起こってまいりました。このボタンのかけ違いを起こさな いためには今開かれている審議会がしっかりと地域や保護者の皆さんの声を踏まえて答申 を出すことができるように努力をしていただきたいと思います。</p>	